

木製残存型枠 間伐林立フォームレス



林)関東森林管理局 会津森林管理署
【小冷水沢復旧治山工事】H25年竣工
規模:H=6.0m、L=50m、A=499m²
上流2分、下流5厘

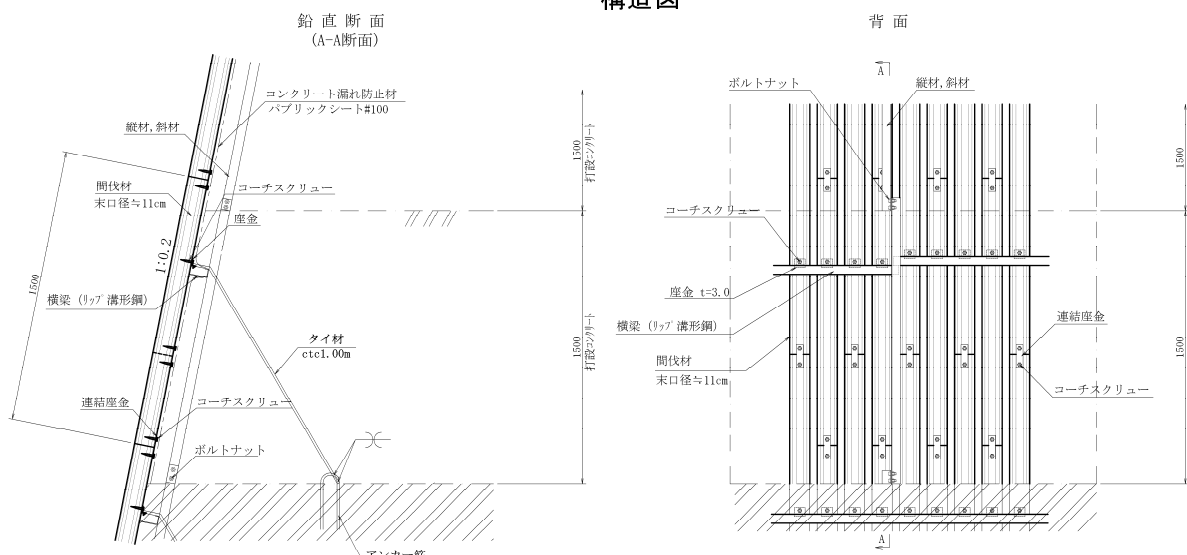
■ 特長 ■ ～ 従来の間伐フォームレス(横使い)と比べて... ～

- ・ 間伐材は、4cm程度の隙間をあけて配置し、内側にはコンクリート漏れ防止材として、透水性のあるパブリックシートを貼る。それによって余剰水が排出され、コンクリートの品質向上が図れる。
- ・ 隙間があることで、コンクリートが均一にすみずみまで打設できているのか品質確認ができる。
- ・ 間伐材をタテにすることで耐久性が向上し、見た目も自然。
- ・ 1本1本が自立しており、連鎖的に脱落する心配がない。
- ・ 間伐材の取付け作業がし易い。
- ・ 間伐材自体に支保材の役割を持たせることで、鋼材重量の削減。
- ・ 材料費、労務費が減少するのでコスト縮減となる。



従来間伐フォームレス(横使い)

構造図



■ 施工手順 ■■■



縦支柱材、横梁材設置



間伐材取付け



パブリックシート貼付け・
コンクリート打設状況



組立て→コンクリート打設→組立て
…の繰り返し、完成



■ 施工業者さんからの声 ■

【小冷水沢復旧治山工事】の施工業者さんより

- ・ 今回の面積だと間伐フォームレス（横使い）なら上流だけで2.5日はかかっただろうが、林立フォームレスは2日で終わり施工が早い。
- ・ パブリックシートは、濡れても強く破れる心配が無く、使い勝手が良い。

【上沢渡（中尾）落石防護柵工事】の施工業者さんより

- ・ 丸太間に隙間を設けるので、小口径や枝節など気にしなくて良く、施工が早い。
- ・ 擁壁がカーブ（曲線）でも丸太取付けや縦・横支柱材など問題なく施工できた。



▼▼▼ 施工事例（堰堤以外でも、狭い現場でも活躍します！） ▼▼▼



林)関東森林管理局 吾妻森林管理署
【上沢渡(中尾)落石防護柵工事】H25年竣工
規模：H=3.0m、L=46m、A=294m²
前面4分、背面 直勾配